

山形ラ・フランス



農林水産大臣登録第99号

生産地：山形県

登録団体：山形県「ラ・フランス」振興協議会



特性

剪定・摘果の栽培管理や追熟の期間を踏まえた適切な時期での出荷を徹底している。そのため、ち密な果肉、果汁の多さ、独特の芳香で食味が良いというラ・フランス品種の特有の品質が存分に発揮されている。

地域との結び付き

1980年代から、山形県は生食用としてラ・フランスの生産振興を図り、官民一体となって栽培技術の開発に取り組み、1988年に出荷の基準日設定の基礎となる収穫期の予測や産地追熟の技術を確立した。果実が病害に感染しやすい6～9月の降水量が他産地より少なく、果実に養分が蓄積される8～9月の日較差が大きく、日本のラ・フランス産地の栽培適地である。